



最近の県内経済情勢

令和 8 年 8 月 5 日

財務省関東財務局

長野財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

お問い合わせ先
長野財務事務所財務課
電話番号 026-234-5124

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。

【各項目の判断】

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	
雇用情勢	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	
設備投資	7 年度は増加見込みとなっている	8 年度は増加見込みとなっている	
企業収益	7 年度は減益見込みとなっている	8 年度は減益見込みとなっている	
企業の 景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、各種政策効果が、景気の持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、今後の物価動向、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。このほか、飲食サービスや宿泊も緩やかに回復しつつあり、全体として個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 節約志向により休日やGWなどの連休を自宅で過ごす方が増えたこともあり、寝具や家庭用品の需要が旺盛になっている。(百貨店・スーパー)
- 仕入価格の高騰分を販売価格へ転嫁できているため、売上高は増加傾向となっている。特に、中東情勢の影響による需給不安からか、ゴミ袋やラップ、フィルム製品などの駆け込み需要が発生し、売上げの伸びが顕著であった。(百貨店・スーパー)
- GWは観光地周辺の店舗において、近隣で行われたイベントにより集客が見込まれたため売上げが好調だった。(コンビニエンスストア)
- 来年から省エネ基準強化に伴いエアコン価格が上昇する見込みであることから、エアコンの駆け込み需要がみられる。また、長野市内では、市が発行する「ながのビッグプレミアム商品券」の効果もあり、売行きが好調であった。(家電量販店)
- 4月以降も花粉症対策用品の需要が旺盛であり、売行きが好調であった。(ドラッグストア)
- 中東情勢緊迫化に伴い、今後の供給不足を懸念して塗装関係、建築資材など石油由来商品の売上げが増加している。(ホームセンター)
- 企業の懇親会などの宴会需要が旺盛で、客数が増加したことから、売上げが堅調に推移している。(飲食サービス)
- 中東情勢の悪化に伴い、中東の空港を経由して訪日予定であった外国人観光客のキャンセルなどが一部でみられたものの、総じてインバウンド需要は旺盛であり、売上げは堅調に推移している。(宿泊)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、食料品などは下降しているものの、汎用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械、情報通信機械、輸送機械などは上昇しており、生産活動は、持ち直しつつある。

- データセンター関連の設備投資マインドが旺盛で、当社製品の売行きも好調であるため、生産量が増加している。(汎用機械)
- 中東情勢緊迫化など注視すべき要素はあるものの、当社は生活必需品の製造機械を手掛けているため、当社製品の需要も堅調に推移している。(生産用機械)
- 半導体・AI関連分野の需要拡大を背景に、工作機械向けの当社製品の生産量も増加傾向にある。(電子部品・デバイス)
- 原材料費などの高騰を受け価格転嫁を行ったところ、消費者の節約志向により販売数量及び生産数量が減少した。(食料品)

■ 雇用情勢 「足踏みの状況にある」

有効求人倍率が上昇し、新規求人数は前年を下回るなど、雇用情勢は、足踏みの状況にあるが、人手不足を感じる企業は多い。

- 開発技術者の高齢化が進んでおり、将来的な影響を懸念している。現在、AIに過去の技術やトラブル対応記録などを読み込ませ、ノウハウや技術の蓄積を進めている。(製造)
- インターンシップの実施やリファラル採用などにより幅広く人材の確保に努めている一方、技術系人材の確保が困難な中、BIM/CIMやAIなどを本格的に活用した業務の効率化・高度化を図る取組が課題となっている。(建設)
- 引き続き人手不足感があり、計画人数どおりの採用ができない中、スポットワークやセルフレジの導入などにより省人化に取り組んでいる。(小売)

■ 設備投資 「8年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4～6月期

法人企業景気予測調査(8年4～6月期調査)で8年度の設備投資計画をみると、製造業は前年比19.4%の増加見込み、非製造業は同5.6%の増加見込み、全産業では同13.1%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「8年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年4～6月期

法人企業景気予測調査(8年4～6月期調査)で8年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比9.0%の減益見込み、非製造業では同4.4%の減益見込み、全体では同8.1%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4～6月期

法人企業景気予測調査(8年4～6月期調査)の企業の景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超幅が拡大している。

先行きについては、8年7～9月期に「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅が前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

最近の県内経済情勢

資料編

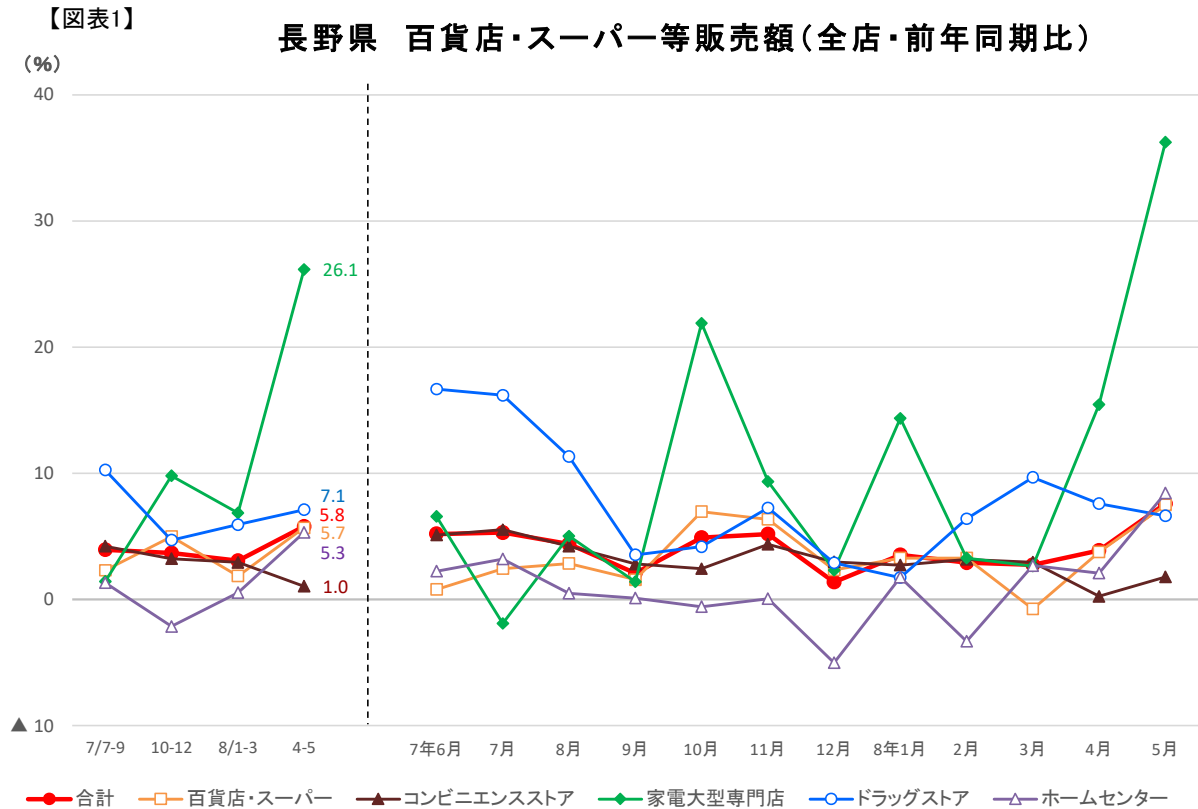
令和 8 年 8 月 5 日

財務省 関東財務局

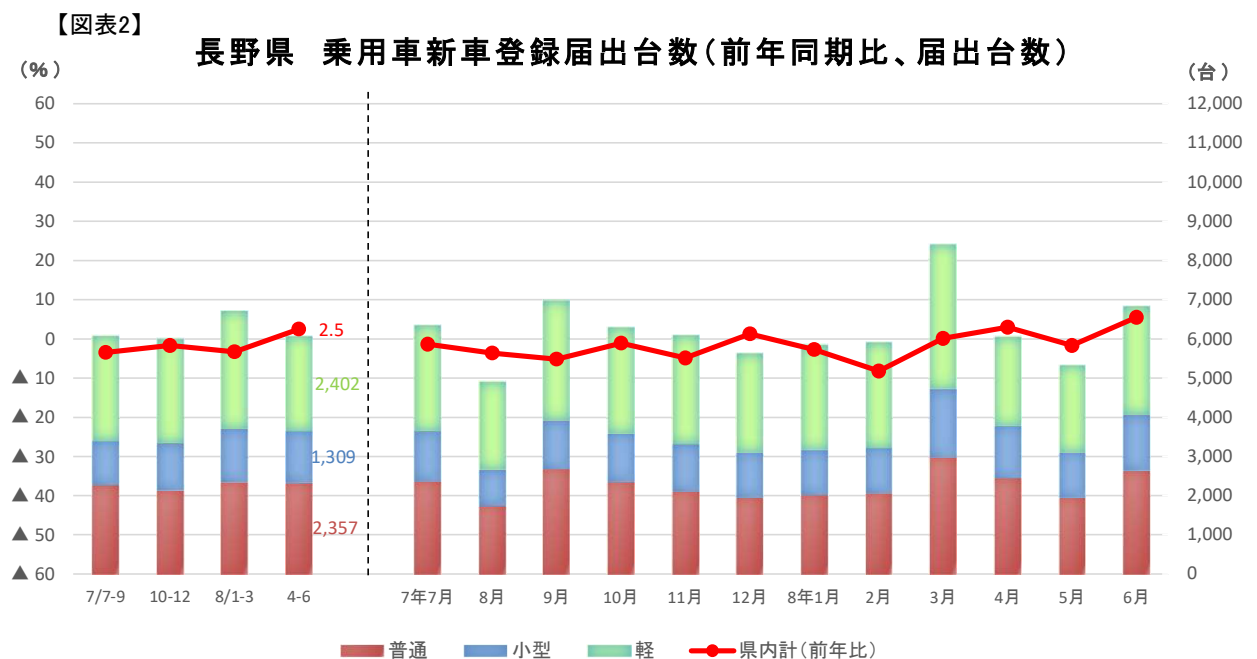
長野財務事務所

1. 個人消費

緩やかに回復しつつある



資料：経済産業省



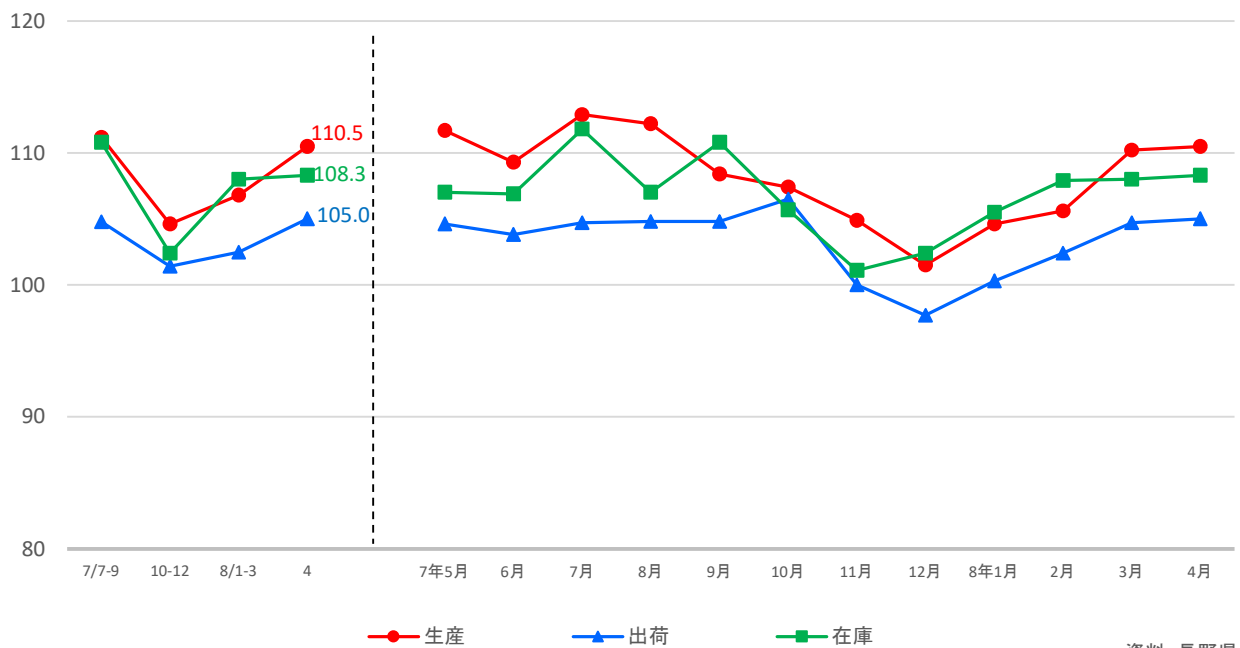
資料：日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会

2. 生産活動

持ち直しつつある

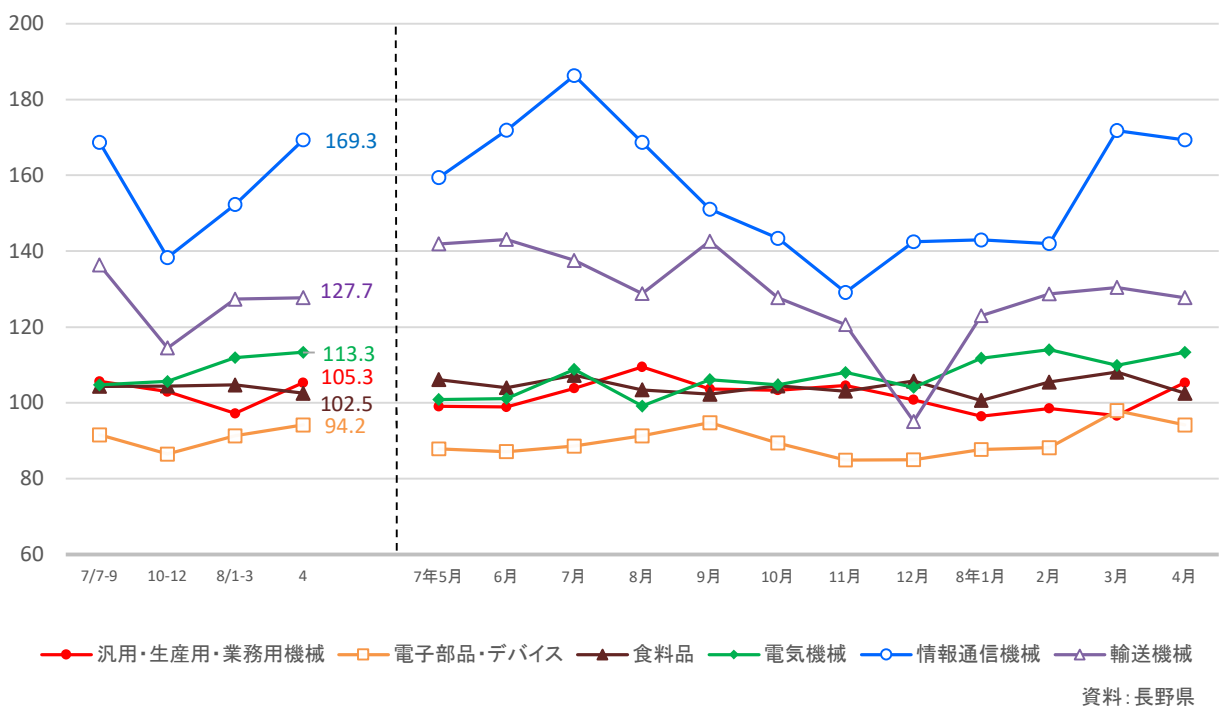
【図表3】

長野県 鉱工業指数(季節調整値・R2=100)



【図表4】

長野県 業種別鉱工業生産指数(季節調整値・R2=100)



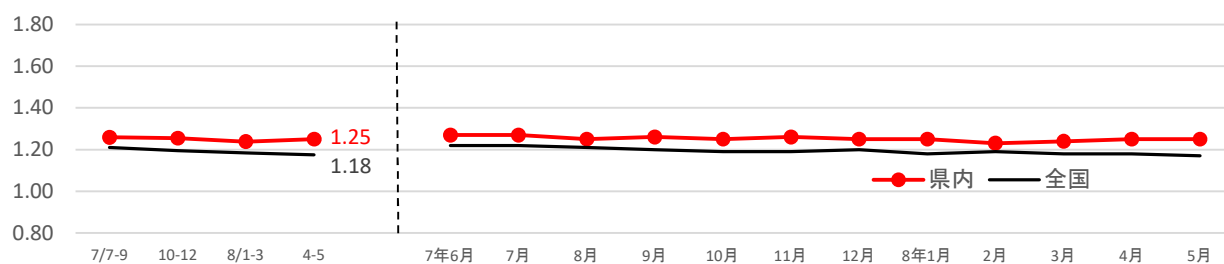
3. 雇用情勢

足踏みの状況にある

【図表5】

有効求人倍率(季節調整値)

(倍)

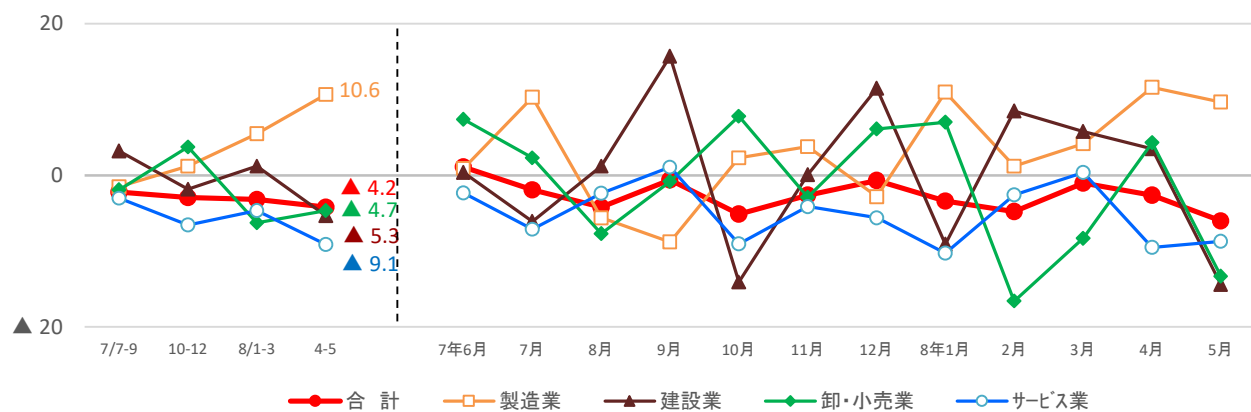


資料: 長野労働局・厚生労働省

【図表6】

長野県 業種別新規求人数(パートタイムを含む・前年同期比)

(%)

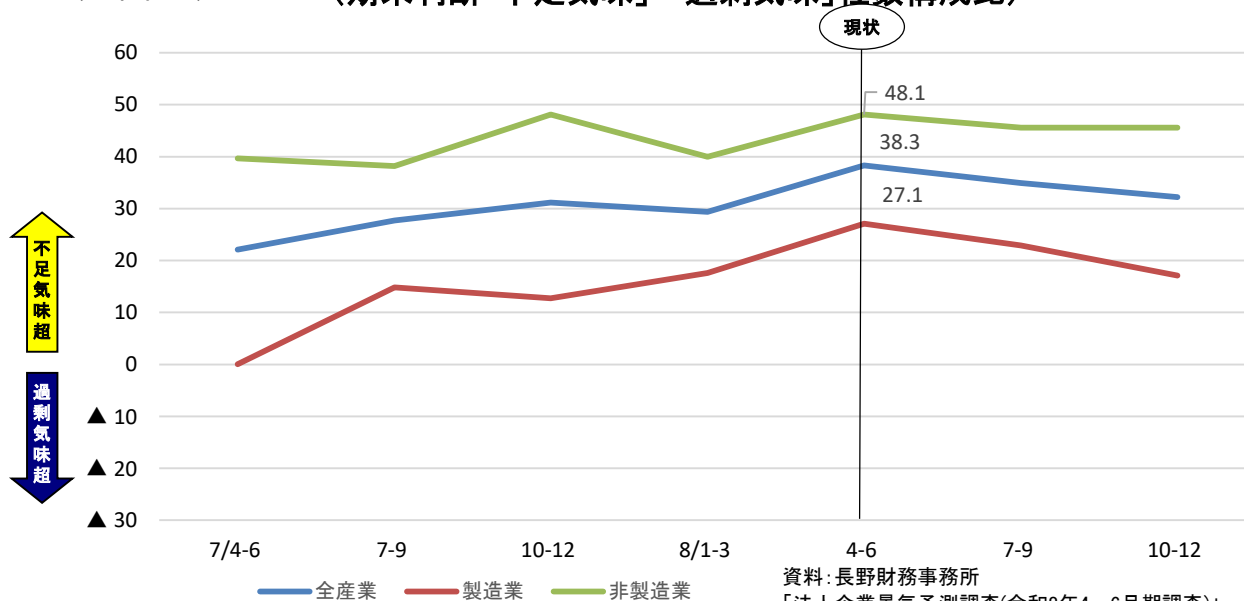


資料: 長野労働局

【図表7】

長野県 従業員数判断BSI (期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)

(%ポイント)



資料: 長野財務事務所
「法人企業景気予測調査(令和8年4~6月期調査)」

4. 企業収益・設備投資

企業収益:8年度は減益見込みとなっている

設備投資:8年度は増加見込みとなっている

【図表8】

企 業 収 益 ・ 設 備 投 資

(前年比増減率:%)

	売 上 高	経 常 利 益	(受取配当金を除く)	設 備 投 資
全規模・全産業	1.5 (0.3)	▲ 8.1 (17.8)	▲ 7.7 (24.0)	13.1 (17.7)
大 企 業	2.7 (0.7)	▲ 6.2 (26.0)	▲ 5.4 (35.4)	18.1 (26.7)
中 堅 企 業	▲ 3.4 (▲ 0.8)	▲ 20.5 (▲ 2.1)	▲ 17.4 (▲ 1.6)	▲ 7.0 (▲ 7.7)
中 小 企 業	▲ 9.0 (1.3)	▲ 8.5 (5.3)	▲ 7.6 (6.9)	▲ 6.6 (▲ 18.9)
製 造 業	▲ 0.5 (1.3)	▲ 9.0 (31.4)	▲ 9.3 (45.1)	19.4 (4.6)
非 製 造 業	7.2 (▲ 0.4)	▲ 4.4 (▲ 2.7)	▲ 3.9 (▲ 2.9)	5.6 (33.6)

(注)1.()書は前回(8年1~3月期)調査結果

2.売上高、経常利益は「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除いたもの

資料:長野財務事務所

「法人企業景気予測調査(令和8年4~6月期調査)」

5. 企業の景況感

「下降」超幅が拡大している

企 業 の 景 況 判 断 B S I
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

【図表9】

(単位:%ポイント)

	8 年 1 ~ 3 月	8 年 4 ~ 6 月	8 年 7 ~ 9 月	8 年 10 ~ 12 月
全規模・全産業	(▲ 8.2)	▲ 8.3 (4.8)	▲ 4.5 (6.2)	▲ 3.2
大 企 業	(0.0)	▲ 5.6 (2.9)	▲ 2.8 (2.9)	5.6
中 堅 企 業	(0.0)	▲ 2.9 (7.9)	8.6 (13.2)	2.9
中 小 企 業	(▲ 16.2)	▲ 11.8 (4.1)	▲ 10.6 (4.1)	▲ 9.4
製 造 業	(▲ 11.8)	2.8 (10.3)	▲ 2.8 (4.4)	▲ 5.6
非 製 造 業	(▲ 5.1)	▲ 17.9 (0.0)	▲ 6.0 (7.7)	▲ 1.2

(注)()書は前回(8年1~3月期)調査結果

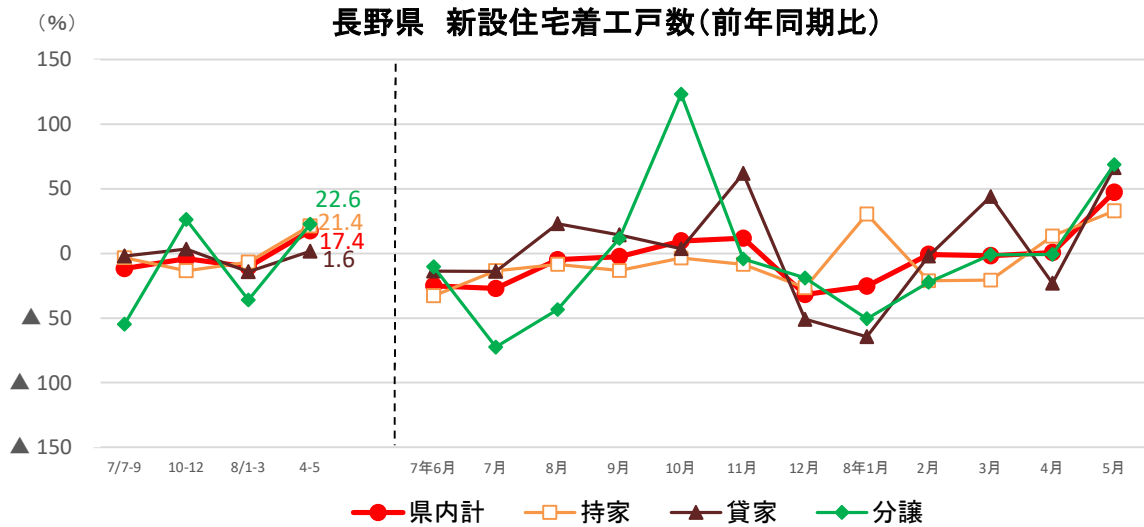
資料:長野財務事務所

「法人企業景気予測調査(令和8年4~6月期調査)」

6. 住宅建設

前年を上回っている

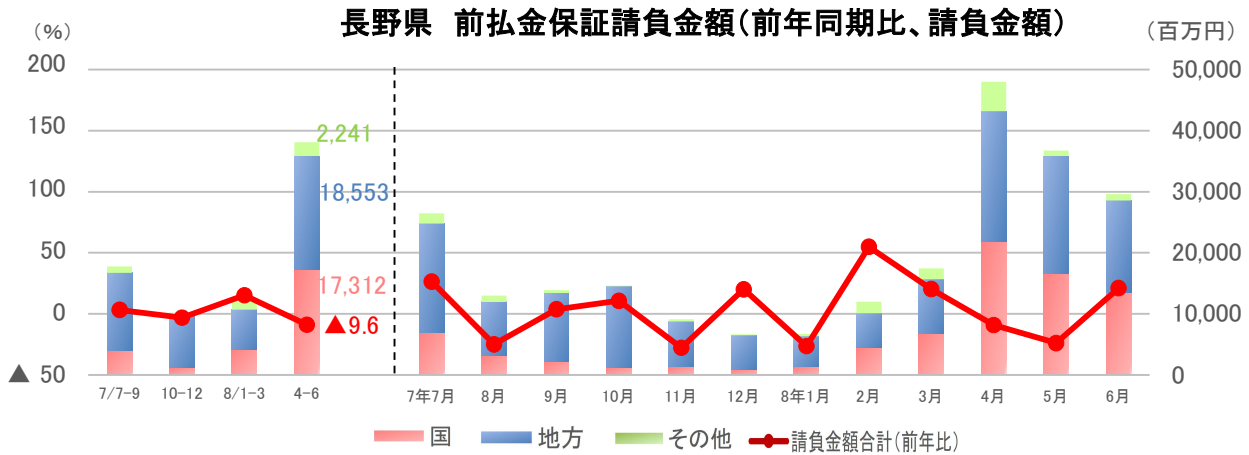
【図表10】



(参考) 公共工事

前年を下回っている

【図表11】



(参考) 倒産

前年を上回っている

【図表12】

